

■近くで生産されたものを選ぶ

ふだん買い物をする時、品物を選ぶポイントは何ですか？ 食品だったら安心・安全でしょうか。値段も気になりますね。もちろん食べておいしいことも大切でしょう。グリーンコンシューマーだったら、季節のものかどうかも大事なポイントですね！

もう一つ、「近くで生産されたものを選ぶ」ということも環境を考える上で欠かせません。それはどうしてでしょう？

まず、遠くから運んでくるには、運送に大きなエネルギーが必要です。たとえばホウレンソウを買う時、あなたの街で栽培された地元のホウレンソウなら、売り場に運んでくるのは簡単です。車を使うにしても、近距離ならガソリンの消費量も少ないし、その分排ガスなどもわずかで済むでしょう。

でももし遠くから運ぶなら、膨大なエネルギーを使うことになります。今では、ホウレンソウを飛行機で運ぶこともごく当たり前になりましたが、その時消費されるエネルギーにことを想像してみてください。

もしあなたがなるべく地元のホウレンソウを選ぶようにすれば、直接にはエネルギーの節約になり、環境への負荷がわずかでも確実に減ります。さらには、それは地元での生産を促すことになるでしょう。

確実に売れるとなれば、ホウレンソウに限らず、どんな食材でも同じです。さらに食材だけでなく、あらゆるものの購入にも同じことがいえます。地元で取れた木を使って家を建てれば、運搬に使うエネルギーも少なくて済むし、地元の林業を盛りたてることになります。

すべてを地元で賄うことはできませんが、一人ひとりの消費者がなるべく地元産のものを選んでみることにすれば、確実に流れは変わるでしょう。次の買い物で、地元のブドウ、地元のキノコなど、あなたの土地で取れる秋の味覚を探してみませんか？